

## 「いのちの不思議」

かわいはやお  
河合隼雄

文化庁長官

いのちというのは、ほんとうに不思議である。あるとないとは大変な違いだが、それを目に見ることも手にふれることもできない。生が死によって支えられている、生は死の裏づけによって意味を深くする、と言われるが、死の裏づけとしての生は考えられるだろうか。こう考えると、死の重さが実感される。現代人にとって死の受容は大変な課題である。